

# AIC-Japan

# NEWSLETTER



2024.1

発行責任者:特定非営利活動法人 AIC-Japan 〒655-0046 兵庫県神戸市垂水区舞子台 8-20-1 https://www.aic-japan.org

# 家族(大切な人)の輪を

# 外八、外八!

いつも温かなご支援をありがとうございます。皆様、いかがお過ごしでいらっしゃいますか? 天災によって、また兵器によって瞬時に奪われる生命、生活の場…

「私たちのしていることは大海の一滴に過ぎません。しかしこの一滴がなければ、海の水は一滴分減るので す」(マザー・テレサ)

「昇り龍のような年になった」とお一人でも多くの方と微笑み合うことができるよう、AIC-Japan もまた、 一つひとつの活動を大切に歩み続けたいと願います。

新たな国内事業、「一粒の麦~人と自然に優しい食物を~」も実りの秋にささやかな収穫を得ることができ ました。見学くださる方、収穫をお手伝いくださる方と少しずつ「輪」が広がっています。

本号では 2024 年度からの里子里親制度から教育支援制度への移行についてもご 紹介しております。コロナ禍で広まったオンラインでの会議やメールを活用し、これ まで以上に現地と連絡を取り、共に困難を乗り越えたいと願います。

皆様とともに AIC-Japan 神戸が「家族(大切な人)の輪を外へ、外へ」と広げる ことができますよう、本年もどうぞよろしくお願いいたします。









### AIC とは?

国際愛徳協議会(International Association of Charities)は、約 400 年の歴史を持つ女性ボランティア団体 で、現在56ヶ国で女性を中心とした約10万人のボランティアが貧困を初め、多くの社会問題に取り組んでいま す。日本では愛徳姉妹会のシスターが中心となり 1999 年に神戸、翌 2000 年に和歌山に AIC が誕生しました。 AIC はまた、市民社会団体(CSO)として世界的なネットワークに属し、困難にある方々の声が国際レベルで 耳を傾けられるよう、そして国際的な議論にその声が反映されるよう働きかけています。

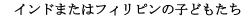
# 里子里親制度から教育支援制度へ

### インド、フィリピンの子どもたちをご支援くださっている皆様へ

ここ数年、現地との話し合いおよび AIC-Japan 神戸の状況を鑑み相談を重ねた結果、誠に勝手ながら 2024 年度からインド・フィリピンの里子里親制度を教育支援制度に変更いたすことになりました。

新たな教育支援制度では、日本の支援者(全員)からインドまたはフィリピンの子どもたち(全員)を支援することとなり、入退学等、子どもたちの状況が変わった際など、現地での調整がしやすくなる半面、里子さんの写真やクリスマスカード等の個別の送付ができなくなります。

### ご支援くださる皆様









制度変更の概略図

成長を見守り、応援くださっているお子様の近況を個別にお届けできないのを大変心苦しく存じ、ニュース レターやホームページで子どもたちの様子を少しでも多くご報告できるよう、一同、努力を重ねます。

教育支援制度に代わりましても支援先は今までと同じ愛徳姉妹会でお世話いただいている子どもたちで、ご 支援くださっているお子様たちが卒業するまでの費用はこれまでと同じように現地にお届けいたします。

子どもたちは現在も支援が必要な状態に置かれています。子どもたちが教育を受け、巣立っていけるよう、 ご支援を継続いただければありがたく存じます。

### 子どもたちのカード送付を担った年月 ~ たくさんの卒業生が社会の担い手に ~



AIC-Japan がフィリピンの里子の支援を始めたのは 1999 年、その時 1 年生だったかわいい子は今年 32 歳になります。たくさんの卒業生が社会に出て働いております。

インドは NPO 法人 AIC になって 2011 年から始まりました。

皆様には、本当に長い間里親様としてあたたかいご支援をいただきましたことを、

ありがたく感謝申し上げます。

2010年から私が関わらせていただきました間、間違いや至らぬことがありましたことを、心からお詫び申し上げます。

どうぞこれからも教育支援にご支援いただけますようお願い申し上げます。

(播本 幸子)

# 海外支援のご報告

昨年11月にAICアジア代表とオンラインでAIC-Japanの活動や行動制限が解かれた次年度の目標等を共有 しました。嬉しい報告ができるよう、小さな積み重ねを大切に活動を続けます。

以下に各国から届いた現地の様子をお知らせします。

### 教育支援

### インド

Sr. ジョアンナはクリスマスの後にボンベイに異動となりました。

「新たな担当 Sr. シャイラが引継ぎます。今後も連絡を取り合いましょう」、 「より豊かな待降節の季節でありますように」 (Sr. ジョアンナ)

「私たちの活動場所は村にあり、写真を投函できる場所まで 40km ありま す。先ずは家庭訪問をして状況を把握し、皆様にお知らせします。保育園も開 園し、現在3~4歳の子どもたち9人をお預かりしています。こちらは現在少 し寒く村々は遠いですが、子どもたちはほぼ終日学校に通っています」

(Sr. シャイラ)



子どもたちから届いた クリスマスカード

### フィリピン

「私たち、RRDC の職員、そして子どもたちは新年がより良い一年となるよう期待しています。子どもたち は正式な教育を受けながら育っており、皆様の温かいご支援に感謝します。私たちの保護下にある他の子どもた ちのためにパートナーシップがみつかりますように。皆様のためにいつも祈っております」 (Sr. セシル)



◆ オリエンテーションで、里子里親制度(新:教育支援制度) についての Sr.セシルの説明に聞き入る保護者





新たな学用品と

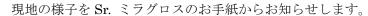
©NPO AIC-Japan



互いの幸せに関心を持ち、家族や地域社会の助けとなるには? 待降節と年末に「振り返り」の時間を持ち、新年へ!

### 水と食べもの支援

### ラオス





「AIC-Japan が支援くださっているビエンチャン県ヒンフープ郡プングン (Pungeun) 村の深井戸と2つのトイレプロジェクトの完成をお知らせできて嬉しく思います。村人の他、首都ビエンチャンからの参加者も一緒に感謝のミサを捧げました。AIC-Japan が人々の福利と持続可能な発展のため、プロジェクトを全面的にご支援くださったことに深くお礼申し上げます。重ねてで恐縮ですが、当地区には他にも日常用および農業用水を求める貧しい辺境の村があり、引き続いてのご支援は可能でしょうか?」 (Sr. ミラグロス、2021年)

「ナンパス (Nampath) 村の水プロジェクトは、パイプ接続部の破損によって村への配水が止まり、修理を重ねています。パンデミックのロックダウン中、多くの制約がある中でラオスの支援チームは水源地を訪れ、パイプの破損個所を保護し、修理の準備をしました。貧しい人々のための皆様の経済的ご支援に感謝いたします。少額のお金を得るための苦労を私たちは知っており、愛のために皆様がなさった挑戦を、私たちはここで貧しい人々の生活の向上のために働くという形で共にしています」 (同、2023年)

「水源からの取水を妨げるパイプ破損の解決方法を教えてくれる熟練者が必要ですが、村の指導者の選挙等 村内の事情もあり、双方が一緒に働くことのできる時間を調整するのは非常に困難です。現在、私は村人が共同 体として行動し、力を合わせて働くことができるよう新たな熟練工や専門家を探すのを手伝っています。

当面の困難や問題を乗り越え、無事に工事が完成するようお祈りください。村人は辛抱強く、きれいな水と 飲料水を求め、祈っています」 (同、2024年1月)

### 今、助けを最も必要とする方々に



AIC は社会で忘れ去られたような方々の声なき声を聞き、現状を打破する方法を共に模索したいと活動しています。皆様のご支援を、私たちに与えられた機会の中で最も助けを必要とする方々にお届けしたいと願い、現在寄せられている支援要請の一端をご紹介します。

フィリピンから: ルソン島のコルディリェラ地方はいわゆる台風ベルトに位置し、2008 年以来超大型台風によって、多くの人命と財産が失われました。農場や削り取られた山の斜面等は徐々に復旧されましたが、気候変動によって今も予想できない脅威にさらされています。地域の貧困率を改善し、173 世帯が清潔で安全な水を利用できるように、また、水を媒介とする病気の発生を防ぎたいと願っています。

**インドから**:ベンガルールは水不足で水代が高騰しているので井戸を掘りたいと願っています。また、スラムの子どもたちを保護し、よい未来を願って教育していますが食費と学費が高く、支援者を求めています。親のない子、飲酒にふけり家庭を顧みない親――これらは子どもたちの背景の一例に過ぎません。少しずつでもご支援いただけたらありがたく思います。

#### ◆ より迅速に活動できる体制、支援し支援される「協働」の関係を

パンデミック、また天災や戦火によって、最も助けを必要とする人々、地域は瞬時に変わります。

AIC-Japan 神戸では、助けを求める声に迅速に応えることができるよう意思決定のプロセスを迅速化し、また目に見える成果だけではなく、協働の中で見つけた「光」をニュースレター等を通して皆様と分かち合ってまいります。

# 国内事業のご報告

### 一粒の麦 ~人と自然に優しい食物を~

11月13日、サツマイモを収穫しました。日照りが続き、作物が充分な水分を得ることができるかと案じておりましたが、畝に戻した刈った草が土中の水分調整に役立ったのかすくすくと育ち、形や



葉も瑞々しい

大きさは不揃いながら、両手に余る収穫を得ることができました。1月には大根を収穫。これらはスイートポテトと浅漬けにしてバザーで販売し、収益を被災地の支援金や来年度の農作業の経費等に充てる予定です。綿花も次々と実を付け、来期



用にたくさん採種できたので、春から市内の農村地帯に作付面積を増やし、より多くの方々と育て、収穫する喜びを分かち合いたいと願います。

場所: 地下鉄伊川谷駅から約3分。天候や作物の生育状況に応じて、種蒔きや草刈り、収穫等不定期で活動しています。 参加ご希望の方はAIC-Japan 神戸事務局へご連絡ください。

\* 参加費無料、汚れてもよい服装、靴で、帽子、手袋、飲み物等をお持ちください。



神戸市内の地域バザー

外へ外へと広げていくことができますように...

AIC-Japan 神戸は昨年10月から六甲カトリック教会社会活動部のボランティアグループの一員となりました。11月にはバザーに初出店、畑で採れたシソの実の佃煮やコットンや千日紅のドライフラワー、会員が編んだ帽子やアクリルたわしを販売。また、市内の地域バザーにも参加しました。一つひとつの出逢いを大切に、今年はより多くのバザーに参加する予定です。収益はすべて支援と活動費に充てます。



六甲カトリック教会のバザー

### コットンボールの輪 ~大きく育て ♡ 家族の輪~

NPO AIC-Japan では、無農薬で育てた綿花を教育支援等の事業に役立てる他、本年は国内への支援も拡大したいと考えます。白くてフワフワなコットンを飾って楽しんだ後、中の種を春先に蒔いて、無農薬で綿花を育て、その一部を AIC へご寄付くださいませんか? 綿花の小さな一粒の種。地に落ちて多くの実を結び、次世代が受け継ぐ環境や社会に優しさを、そして私たちが「家族(大切な人)」の輪を、

「綿花を育ててみたい」と思われる方は、84円切手を貼った返信用封筒をNPO AIC-Japan 神戸事務局へお送りください。皆様のご参加をお待ちしています。

〒655-0046 神戸市垂水区舞子台 8-20-1 聖ヴィンセンシオ・ア・パウロの愛徳姉妹会内 NPO AIC-Japan 神戸事務局

# f 賑やかに、和やかに f

### ヴィンセンシアン・ファミリー・デーが開催されました

9月23日(土、祝)、ヴィンセンシアン・ファミリー6団体と支援者、計82名が神戸の聖ヴィンセンシオ・ア・パウロの愛徳姉妹会、聖マリアの園幼稚園に集い、共に祈り、それぞれの活動や思いを分かち合いました。



午前の部、「ヴィンセンシアン・ファミリー・コラボレーションにおけるシノ ダリティとコロナ後」のタイトルで、アマド神父が講話。

「日本でも貧困は増加していますが、貧しい人々は隠れキリシタンのように 隠されています」、「競争に幸せをみつけるのではなく、時間、才能、宝を共有す る大切さ」を説かれ、続いて小グループに分かれて意見を交換しました。

「高齢化でもできることがある」、「子どもたちの活躍する場を提供したい」、 「貧しい人を支援するだけでなく連帯したい」等、現状

昼食を摂りながらの歓談の後は、各ファミリーが日 頃の活動を紹介。コロナ禍での病院訪問の難しさ、メン

を打破するための意見を分かち合いました。

バーの高齢化等の課題を分かち合うとともに、人員の不 足の中で、困難にある方々に「寄り添う灯を消さないために」行っている努力等、時間



手作りのお菓子を皆さんに



ベトナムのダンスを披露

彼らが選んだ「わたしをお使い下さい(マザー・ テレサの祈り)」を一同で歌い、派遣のミサで閉会。 「来年を楽しみにしています」 「また逢う日まで!」

今回初参加のビンセンシアン・マリアン・ユースは、若きべトナム人のグループです。勉学や仕事等、時間的、経済的に余裕のない中、「困難にある方々に自分たちのできることを」と朗らかに活動する姿に、また、その中からシスターとなって生涯を「奉献生活」に送るよう召し出しを受けた女性の笑顔に、ファミリーの明るい未来を想います。



置かれた地で困難にある方々と共に歩みましょう

### ヴィンセンシアン・ファミリー

聖ヴィンセンシオ・ア・パウロの宣教会 (CM) 聖ヴィンセンシオ・ア・パウロ会 (SSVP)

VinCE Foundation

聖ヴィンセンシオ・ア・パウロの愛徳姉妹会(DC)

ビンセンシアン・マリアン・ユース (VMY)

聖ヴィンセンシオ・ア・パウロの愛徳協議会(AIC)

病んだ人の傍らに、両親が育てられない幼子を育む場に、次世代を担う子どもたちの教育の場に佇むシスター方の微笑み。自らの家庭や私有財産を築くことを放棄し、謙遜、単純、愛徳を精神に、修道会の姉妹たちと共同生活を送り、天に国籍を置いて、必要とされる場所で生涯を捧げます、「あなたは決してひとりではない」、「神の愛に漏れる人はいない」ことを生き方によって証しするために。そのようなシスターのお一人にお話を伺いました。



聖ヴィンセンシオ・ア・パウロの愛徳姉妹会 Sr. カタリナ

#### 1. なぜ、シスターになろうと思われましたか?

小さい時からある修道会のシスター達と関係がありました。教会でシスター達と一緒に掃除をしたり、宗教の勉強を教えてもらっていました。中学生になって町の学校で勉強したいので、シスター達が経営する寮に入りました。シスター達の生活に興味を持ったり、シスター達のきれいな服装に憧れました。これがシスターになりたいと思った最初の理由です。専門学校を卒業した時、病院で働いている愛徳姉妹会の一人のシスターに出会いました。わたしも貧しい人々のために働きたいと強く希望し愛徳姉妹会に入会しました。



### 2. 現在のお仕事について教えてください。

日本に来てから日本語や保育専門学校で勉強させていただきました。今、私は聖マリアの園幼稚園で働いています。

### 3. 幼稚園で子ども達、また、保護者の方々に伝えたいことを教えてください。



愛徳姉妹会のシスターとして、信仰の喜びやヴィンセンシオの精神を生きている 姿を通して神様の愛を伝えたいと思っています。毎日、子ども達と明るく保育の 生活をしています。

#### 4. 故郷の方々の日曜日の過ごし方を教えてください。

私の故郷のベトナムでは、日曜日のミサが何回もささげられています。子どものミサ、青年たちのミサなど があります。ミサ後、勉強会や楽しいプログラムがあって、皆、喜んで参加します。

#### 5. お読みくださる皆様にお伝えしたいことがあれば是非!

ベトナムの人々たちは皆、信仰が深いと思います。日曜日には、皆、教会のミサに参加して神様に感謝を捧げます。日本に来ている若者達は忙しくても必ずミサに参加して、友達と楽しみます。

教会は、ベトナム人にとって自分の家族のようです。

私は、毎週日曜日にたかとり教会で子ども達とミサに参加し、日曜学校で子ども達に初聖体の準備をしています。私は色々なことをやりたいと思っていますが、日本語が十分ではありません。けれども、神様のお恵みを願いながら頑張っています。

# ご支援のお願い

AIC-Japan の会員となってご支援いただくことで、安定した支援活動を計画することができます。活動継続のためには、皆さまのご協力が必要です。活動にご参加/賛同くださる方は、下記の口座いずれかへお振込みください。未来のために暖かいご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

#### 会費の種類

賛助会員:活動内容に賛同し、ご支援くださる方

·個人会員:1 口 6,000 円 / 年 (月 500 円)

·教育支援会員:1 🗆 18,000 円 / 年(月 1,500 円)

·特別会員:1 口 60,000 円 / 年(月 5,000 円)

正会員:活動への参加を目的とされる方

·正会員:12,000円/年(月1,000円)

### 振込先 特定非営利活動法人 AIC-Japan

· 三井住友銀行 明石支店 普通 6738439

・ みなと銀行 舞子支店 普通 4042732

・ ゆうちょ銀行 四三八支店 普通 0199849

または記号 14360-2-01998491

· 郵便振込の場合 郵便振替口座 00950-4-158176

※ 恐れ入りますが手数料はご負担願います

※ 毎月の引落しをご希望の方は、銀行窓口でお手続きください

会員をご希望されない場合:任意の金額の寄付をお願いいたします。

- ※ 正会員費は活動費として、賛助会員費の 20%は支援準備金と支援に必要な経費(事 務費・通信費など)に使わせていただきます。
- ※ 会員には AIC-Japan 神戸のニュースレターをお届けします。
- ※ ニュースレターの送付等のため、初めてご支援くださる方は事務局までご連絡ください。TEL: 080-6134-7684、E-mail: <u>aicjapanstvincent@yahoo.co.jp</u>



©NPO AIC-Japa

### 「わたしの母とはだれか。わたしの兄弟とはだれか。」

そして、弟子たちの方を指して言われた。「見なさい。ここにわたしの母、わたしの兄弟がいる。だれ でも、わたしの天の父の御心を行う人が、わたしの兄弟、姉妹、また母である。」

(マタイによる福音書 12:47-50)

アウシュビッツで身代わりとなって餓死室へ赴かれたコルベ神父様がいらした牢内からはお祈りと歌 声が聞こえ、餓死室がまるでご聖堂のように感じられたそうです。

餓死室をご聖堂のように変えられた―それこそ愛の勝利に思えます。この世の地獄を愛ある場(天国) に変えられる方は、昔も今もそしてこれからもいらっしゃるでしょう。

ひとつずつの小さな闘いで、悪の支配する場所が愛の支配する場所へと置き換えられていく… 私たちもまた、自らとの一つひとつの闘いで、愛(神)の勝利を選び取っていくことができますよう に…

見よ、兄弟が共に座っている。なんという恵み、なんという喜び。(詩編 133:1)

(マリア堺)



発行:AIC-Japan 神戸【特定非営利活動法人 AIC-Japan】

〒655-0046 神戸市垂水区舞子台 8-20-1

聖ヴィンセンシオ・ア・パウロの愛徳姉妹会内

Tel: 080-6134-7684

E-mail: aicjapanstvincent@yahoo.co.jp

URL: http://aic-japan.org

〒641-0044 和歌山市今福 3-5-21

AIC-Japan 和歌山